



学校だより

小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子



令和2年11月27日 No.30

《いよいよ明日は「小川小学校2020スポーツフェスティバル(体育等授業参観)」です》

新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事を取りやめた地域が多くあります。先日、研修会で他校の校長先生とお話する機会がありました。ある学校は、運動会が中止、宿泊学習や修学旅行を宿泊から日帰りにしたと話されていました。その校長先生に6年生の娘さんがいらっしゃるそうで、2年生の頃から「6年生になったら運動会でやりたいことがある」と語っていたそうです。それは「応援団で下級生に優しく教えてあげたい」と、いつも熱心に話していたそうです。その娘さんの学校は運動会が中止となり、落胆していたそうです。その時は親としても心が痛かった、と話してくださいました。

6年生になったら運動会でやりたいことがある。その思いは小川小学校の子供たちもきっと同じだと思います。この3週間、校庭ではスポーツフェスティバルの練習が繰り広げられてきました。時間の隙間を見つけては応援練習をしている応援団員のみんな。また、5年生は12月3日(木)に予定されている野外活動のキャンプファイヤーの準備を進めています。日に日に子供たちの動きに磨きがかかっているのが見て取れ、とても頼もしく感じていました。

このスポーツフェスティバルを始めるにあたり、子供たちはそれぞれ目標を立てています。どんな自分になりたいか。どんな力を身につけたいか。そのために何を頑張りたいか。それぞれの子供たちが自分自身の目標課題を掲げました。その表現や内容は子供によって様々です。

特に6年生は小学校生活最後の年になります。最上級生としてどうあるべきか。何ができるようになりたいのか。もちろん下級生たちもスポーツフェスティバルの成功に向けて具体的な頑張りを書いたと思います。

自分たちの頑張りが集まれば、きっといいスポーツフェスティバルにできるはず。校長室から見る子供たちの姿は、そんな思いに満ちていたように感じました。一生懸命であり、かつ楽しそうでした。子供たちにとってスポーツフェスティバルは、当日までの日々を含めた3週間以上に渡る学習です。「自分や友達が練習で上手にできないときどうするか」「雰囲気が悪くなったときどうするか」など、こんなこともきっと経験しただろうと思います。そして、スポーツフェスティバルに向けた子供たちの頑張りはスポーツフェスティバル当日だけでなく、社会に出たときにも必要な力となって残ります。

明日はいよいよスポーツフェスティバルです。ご来校いただけるのは各家庭で制限がありますが、これまでの数々の努力を重ねた子供たちの姿と、そして力強く未来を生きるこの子供たちの姿を重ねながらご参観ください。例年とは異なり、受付を東門側に設けます。健康チェック票と入校証も忘れずにお持ちください。



【応援団も盛り上げています】

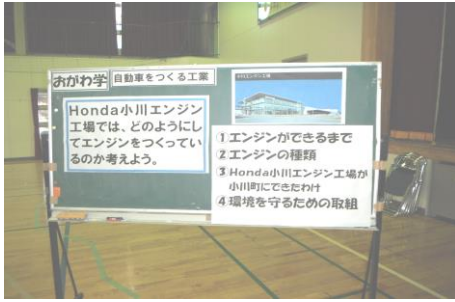


【自分の色を全力で応援】



【2年生の徒競走の練習】

《校内研究「おがわ学」が順調に進んでいます》



【黒板の掲示】



【密を避けるため体育館で授業を実施しました】



【自分の考えをグループになり、伝えています】

11月16日（月）に5年1組が社会科の授業研究会を行いました。また、11月24日（火）に4年1組が国語の授業研究会を行いました。「おがわ学」という教科はありませんので、各教科と関連付けながら、小川町の文化や歴史、産業等について理解を深める学習に取り組んでいます。

この「おがわ学」は、埼玉県教育委員会、県立小川高等学校、小川町教育委員会が令和元年度から文部科学省の指定事業「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力型）」として町内の小中学校、そして県立小川高等学校で実施しています。

この指定事業では、よりよい授業を実現するために、授業の中で児童・生徒がどのように学んでいたか授業記録を分析し、それに基づいて次の授業改善やその基礎となる研究の蓄積、研修並びに教育利用を行っています。また、この成果をWebサイトや学会、シンポジウム等での講演資料、論文や書籍等で公開することがあります。

保護者の皆様には、記録を研究及びその成果の公表や研修等に用いる場合がございます。その際には、氏名など個人が特定できる情報は削除した状態で用いるなど、児童に不利益が生じないように最大限に配慮いたします。

これらの趣旨をご理解の上、今後、すべての学年ではございませんが、授業中のプリント、音声記録、映像資料について埼玉県教育委員会、県立小川高等学校及び小川町教育委員会への記録の提供に同意できるかどうかを確認する文書をお配りいたします。どうぞご協力をお願いいたします。



【先生からのアドバイスを聞く児童】



【岡部さんの言っていた言葉は、どの段落の間に入るか検討しています】



【自分の考えを隣の友達に伝えています】



【岡部さんの考えを入れ、全体のつながりを検討しています】

《保護者の皆様へお知らせ》

- ①12月の土曜授業は、実施しません。また、1月の土曜授業も実施しない予定ですが、感染症の状況では変更する場合もございます。その際は、ご協力をお願いします。
- ②3学期の学校行事等のお知らせは、11月30日に文書でお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。